

事務事業名 松尾庁舎改築等整備事業

政策:06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策:03 計画的・効率的な行財政運営

基本事業:05 市有財産の有効活用

部名:総務部

課名:企画政策課

計画年度	平成21年度 ~ 平成26年度		事業区分	継続	会計区分	普通会計	
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民 松尾庁舎等			松尾庁舎等の解体撤去に伴い、市民ニーズを的確に把握し松尾庁舎跡地を拠点とした地域コミュニティを再構築する。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			平成21年 6月 庁内検討会議設置 12月 松尾庁舎等解体撤去設計積算業務委託 平成22年 1月 松尾庁舎跡地利用に伴う地域活性化基礎調査業務委託 1月 意見交換会（地域審議会委員・市議会議員）				
松尾庁舎等周辺が整備されます。							
4 活動指標・成果指標・事業費の推移							
区分	指標名称		単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値
活動指標	市民説明会等の開催回数		回	-	1	1	2
活動指標	庁内検討会議開催数		回	-	4	1	4
成果指標	庁舎改修事業の進捗率（建設事業費ベース）		%	-	0	0.8	40.3
成果指標							
事業費			千円	0	7,140	0	
			うち一般財源	千円	0	7,140	0
5 目的妥当性							
法定受託事業である（根拠法令） 妥当である 妥当性が低い			庁舎の解体、撤去及び新たな庁舎等を整備するための事業であり、妥当である。				
6 上位の基本事業への貢献度							
貢献度大きい（理由） 貢献度ふつう（理由） 貢献度小さい（理由） 基礎的事務事業			地域コミュニティの拠点施設として、まちづくりの推進に大きく貢献する。				
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討							
対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる 対象や意図の見直しはできない その他			新たな庁舎等の必要性については、市民のニーズを反映する必要がある。				
8 有効性（成果状況）							
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない			松尾庁舎跡地は、JR松尾駅に近く、その周辺は、旧松尾町の中心地として一つの生活圏が形成されており、庁舎解体、撤去後の有効活用が強く望まれている。 地域コミュニティの拠点施設として、まちづくりの推進に大きく貢献し、成果向上余地はある。				
9 有効性（成果向上余地）							
成果向上余地・大 成果向上余地・中 成果向上余地・小・無し							
10 事業の再編成							
類似の事業があり、再編成できる 類似の事業はあるが、再編成できない 類似の事業はない			なし				
11 効率性（コスト削減の方法）							
ある ない			なし				